

業務プロセスの改廃、デジタル化の推進

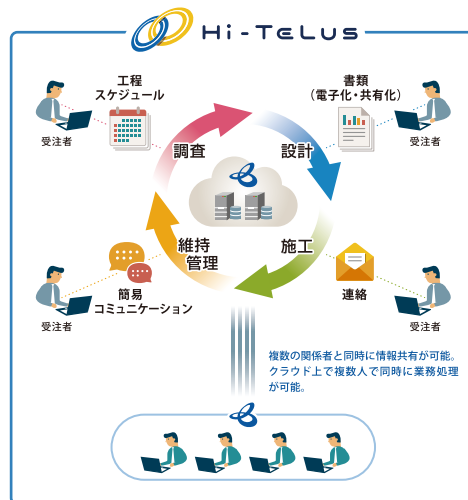
業務棚卸により、業務プロセスの改廃・見直しを行い、必要に応じてデータとデジタル技術を活用した定型業務の自動化を進めています。

また、建設業の働き方改革として、受発注者間での円滑な情報共有、各種手続きや工事書類の簡素化・効率化を図ります。各種業務情報の利活用を可能とする「阪神高速・工事情報等共有システム(Hi-TeLus)」では、グループ会社が発注する工事・業務への導入、図面管理機能や受注者のアーカイブ出力機能追加など、システム利用者の意見を踏まえた改修を継続して実施することで工事・業務のさらなる効率化を進めています。

各種データの利活用においては、データ蓄積および利活用基盤を構築し、既設システム基盤との連携を考慮した情報プラットフォームの整備を進めます。



定型業務の自動化



チャレンジアップ運動、CS表彰

改善・改革の意識風土をグループ内に広げることを目的に、身近な課題の解決に向けて社員が行った取り組みなどをグループ内で共有し、称える「チャレンジアップ運動」や、グループ社員のCSマインド向上・モチベーション向上を図ることを目的に、日々の業務を通じて「お客さま満足」につながる行動を取った社員に対して「CS表彰」を実施しています。



チャレンジアップ運動・CS表彰
合同表彰式

VOICE

「先進の道路サービスへ」の実現に向けて 技術開発を推進します

グループ理念「先進の道路サービスへ」の実現に向けて、阪神高速グループが取り組むべき課題は、新規路線の建設、供用中路線の維持管理から防災、交通安全対策、DXの推進、脱炭素化など、多岐にわたり、従来の技術や方法では解決できません。これらの課題を解決するために、グループ内の技術力強化に加え、一般の企業、研究機関などが保有されている技術、ノウハウなどもお借りするオープンイノベーションを通じて、技術開発をより一層推進してまいります。



阪神高速道路株式会社
技術部技術推進室
課長代理
鈴木 英之